

一般社団法人日本内視鏡外科学会

2016 年度（自 2015 年 10 月 1 日至 2016 年 9 月 30 日）第 1 回理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

☐開催日時 2016 年 4 月 6 日（水）14：00～17：00

☐開催場所 ステーションコンファレンス東京 503 CD

☐理事総数 20 名

☐監事総数 4 名

☐出席理事数 19 名

☐出席監事数 4 名

☐出席理事の氏名

渡邊昌彦（理事長）、明楽重夫、池田徳彦、猪股雅史、岩崎昭憲、岩中 督、小澤壯治、北川雄光、黒川良望、坂井義治、塩田 充、出沢 明、寺地敏郎、橋爪 誠、松田公志、森 俊幸、森川利昭、若林 剛、渡邊聡明

☐出席監事の氏名

馬場志郎、万代恭嗣、松本純夫、山下裕一

☐出席名誉理事長の氏名

北島政樹、北野正剛

☐議長の氏名

渡邊昌彦

☐決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

☐議事の経過の要領及びその結果

以下の通りである。

＊

定刻に至り、渡邊昌彦理事長より開会が宣され、その後、議事に入った。

1. 前回の理事会議事録が確認された。

2. 報告事項

1) 編集委員会報告

(1) 日本内視鏡外科学会雑誌（渡邊昌彦編集主幹）

・編集委員の交代および 2 名の増員について次の通り確認された。

退任：北野正剛主幹、池田徳彦委員、大須賀穰委員、小澤壯治委員、北川雄光委員、

近藤幸尋委員，坂井義治委員，森俊幸委員，山本学委員

新任：渡邊昌彦主幹，井上貴博委員，猪股雅史委員，片田夏也委員，須田康一委員，
竹政伊知朗委員，寺尾泰久委員，内藤剛委員，中村雅史委員，本田五郎委員，
文敏景委員

- ・投稿状況が報告された。
- ・今後の和文誌，英文誌のあり方について議論を重ねていきたい旨が述べられた。

(2) Asian Journal of Endoscopic Surgery（北野正剛編集主幹）

- ・活動報告がなされた。
- ・今後もインパクトファクター獲得に向け引用を推進することが確認された。
- ・今後の ASES 編集事務局の運営費 100 万円について，AETF の負担を 5 割から 2 割へと変更することが提案され，承認された。

2) 総務委員会報告（若林剛委員長）

- ・庶務報告 会員数 12,616 名（2016 年 3 月 25 日現在）
- ・毎年 800 名ほど増えている状況であることが報告された。

3) 教育委員会報告（黒川良望委員長）

- ・3 年を掛けて委員の交代を進めており本年 12 月で 6 年以上の経験者がいなくなる予定であること，また，新たに阿部展次委員が就任したことが報告された。
- ・内視鏡下縫合・結紮手技講習会について 3 月 5 日で 150 回の開催となったこと，本年も 12 回の開催を予定していることが報告された。受講者の技術が向上していることから，本年から新しい評価方法を導入したことが報告された。
- ・新たに 43 件の後援講習会を認定したことが報告された。
- ・用語集改訂委員会：掲載準備が整い，現在は HP 掲載のための詳細を詰めているところであることが報告された。

4) 学術委員会報告（猪股雅史委員長）

- ・渡邊昌彦委員，北川雄光委員，白石憲男委員の退任および金山博臣委員，山口茂樹委員，和田則仁委員の新任が報告された。併せて，寺地敏郎委員の副委員長就任が報告された。
- ・第 13 回内視鏡外科手術に関するアンケート調査（調査対象期間：2014 年～ 2015 年）の状況について報告された。
- ・NCD データを利用した消化器外科領域新規研究課題について
2013 年度申請「腹腔鏡下胃切除術の安全性に関する検討 NCD による前向き調査研究」
：解析が終了し論文文化が進められていることが報告された。
2014 年度申請「日本内視鏡外科学会技術認定制度における技術認定レベルのアウトカム評価」
および 2015 年度申請「高齢者に対する腹腔鏡下手術の意義」
：順調に進んでいることが報告された。
- ・渡邊昌彦理事長の指示のもと，NCD データと JSES アンケートとの棲み分けを検討していることが報告された。
- ・研究費が申請年度に処理されないまま来ているため，単年度にまとめて大きな費用負担が生じる可能性がある旨が山下裕一前委員長より述べられた。

5) 保険委員会報告（森俊幸委員長）

- ・オリンパスの洗浄シースについて、エビデンスを得るため、森俊幸委員長を中心に研究を進めていくこととなった旨が報告された。

6) 広報委員会報告（出沢明委員長）

- ・NewsLetter 22 号の発行が報告された。
- ・学会 HP については、3 件のお知らせ掲載を行ったことが報告された。

7) ガイドライン委員会報告（渡邊聡明委員長）

- ・次回の日本語版は 5 年後となる 2019 年に発行予定となったことが報告された。
- ・フォーマットを統一すること、文献検索は発刊の 2 年前までとすることが決定した旨、説明された。2014 年版では技術認定取得者としていたガイドラインの対象について、2019 年版では誰を対象とするか今後議論していく予定であることが報告された。

8) 第三者評価委員会（岩中督委員長）

- ・医療事故調査制度に協力していることが報告された。
- ・医療事故調査制度からの依頼については、次のように進めることが承認された。
事務局に依頼が届く → 第三者評価委員会へ連絡 → 理事長と相談のうえで対応
※専門家の派遣依頼があった場合は、原則としてその領域を専門とする理事を推薦する。
ただし地域性や個人的な事情等にも配慮する。
※協力において謝金が発生しても学会は関与しない

9) 倫理・渉外委員会報告（明楽重夫委員長）

- ・報告事項なし

10) COI 委員会報告（森川利昭委員長）

- ・共催セミナーでの COI 事項の開示について、講演内容の科学性・中立性を担保するために透明化させていくことが望ましい旨が確認され、他の発表と同一の基準での開示を求めていくこととなった。
- ・開示フォーマットについて、学会の開示基準に基づいての COI 開示事項がない（実際には謝金を受け取っているが基準額に満たないので開示事項なしとしている）ことが明白となるよう、フォーマットを新たに作成すべきとの意見が出された。これを受けて、COI 委員会で検討のうえ、次回理事会で新フォーマットを確認することとなった。
- ・COI に関するルールの厳格化に伴い、今後 COI マネジメントの内容を確実に実行していくことを委員会で確認した旨が報告された。

11) 医工学連携委員会報告（森川利昭委員長）

- ・新たに伊藤雅昭委員、稲木紀幸委員、高木剛委員、武中篤委員、和田則仁委員が就任したことが報告された。
- ・第 29 回総会も本委員会が中心となって医工連携企画を進める予定であることが報告された。併せて、実行予算案が提示され確認された。

- ・会員への知財サポートの観点から JSES に顧問弁理士を置くことが提案された。議論の結果、学会がどのように会員を支援するのか、プロセスを明確にして次回以降に改めて詳細提示のうえで審議となった。
- ・医工連携推進のため、医工連携の成果物に賞を授与することが提案された。財源の検討および規約の作成を行い、次回以降に改めて審議となった。

12) メディカル・チーム検討委員会報告（岩崎昭憲委員長）

- ・新たに武中篤委員が就任したことが報告された。
- ・メディカルスタッフマニュアルの改訂版を 2017 年末頃に発行予定であること、改訂内容を検討中であることが報告された。
- ・マニュアルの残数について、事務局に 120 冊を残すのみとなったことが報告された。
- ・メディカルスタッフ会員の増加についても委員会で検討している旨が述べられた。

13) E ラーニング検討委員会報告（池田徳彦委員長）

- ・委員の先生方にどのような E ラーニングがよいかのアンケートを行い、今後進めていきたい旨が述べられた。

14) 規約委員会報告

- ・徳村弘実委員長欠席のため将来構想委員会と併せて報告された。

15) 将来構想委員会報告（寺地敏郎委員長）

- ・評議員の選出について検討するため、規約委員会および評議員選考委員会との合同委員会を開催する予定であることが報告された。地域性や領域のバランスを考慮しての選出となるよう検討する旨が述べられた。

16) 専門医制度検討委員会報告（北川雄光委員長）

- ・日本医学会連合での新専門医制度説明会に出沢明理事が出席したことが報告された。
- ・新専門医制度の枠組みは、まだ固まっていないことが共有された。

17) ロボット支援手術検討委員会報告（橋爪誠担当理事）

- ・昨年 12 月開催の委員会において、外保連からの申請および患者申出療養制度の利用という意見もあったが、検討の結果「先進医療 B」で進めていくこととした旨が報告された。
- ・腎部分切除は保険収載が決まったこと、胃がんは症例登録中であること、子宮頸がんは先進医療会議を通過したこと、直腸および肺がんについては継続審議中であることが報告された。
- ・12 月の委員会において大阪大学の田倉智之教授より、患者の満足度や QOL を評価の中に入れる方法等が紹介されたことが報告された。

18) 評議員選考委員会（塩田充委員長）

- ・近年、選考を厳しくしてきており、本年は「直近 7 年以内に 4 回以上の学会総会参加」「JSES 和文または英文機関紙の論文 1 編必須」、「雑誌は査読してあるものに限定」という追加条件のもと、6 月末を期日として申請を受け付けていることが報告された。

- ・規約委員会および将来構想委員会と評議員のあり方を議論していく旨が述べられた。

19) 大上賞選考委員会報告（渡邊昌彦委員長）

- ・特段の報告事項なし

20) 出月賞選考委員会報告（森俊幸委員長）

- ・金山博臣委員が新たに就任したことが報告された。
- ・改定した審査基準で今後選考していく旨が述べられた。

21) 第 28 回総会開催報告（松田公志前会長）

- ・お礼の挨拶とともに、総演題数 3,256 件、参加者数 6,009 名（有料無料込）であったこと等が報告された。
- ・第 29 回総会では医工学連携委員会で管理することとなっている医工連携企画の会計について、第 28 回総会では総会側の会計に含めている旨が述べられた。

22) 第 29 回総会準備報告（渡邊昌彦会長）

- ・理事会は前日に開催予定であること、5 月の連休明けに演題募集を開始予定であることが確認された。
- ・隈元雄介事務局長より、現在のプログラム案および総会 HP の開設が報告された。

23) 第 30 回総会準備報告（坂井義治次期会長）

- ・現在、プログラム委員を検討中である旨が報告された。

24) 第 31 回総会準備報告（岩崎昭憲次々期会長）

- ・会期は 2018 年 12 月 6 日（木）～8 日（土）、会場は福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリネッセ福岡となっていることが報告された。

25) 日本医学会等報告（渡邊昌彦理事長）

- ・日本医学会連合および日本医学会定例評議員会、日本医学会連合加盟学会連絡協議会の会議資料が確認された。
- ・JSES 副理事長に坂井義治理事が就任することが報告された。

3. 審議事項

1) 技術認定制度委員会報告（松田公志委員長）

- ・消化器・一般外科および小児外科領域の更新申請者リストが確認され、承認された。
- ・消化器・一般外科および小児外科領域の 2015 年度の合格者リストが確認され、承認された。
- ・泌尿器科領域・産科婦人科領域・整形外科領域の新規申請者および更新申請者のリストが確認され、承認された。
- ・技術認定制度の最新状況として、他学会を含めた全領域合格者数が計 3,744 名、JSES のみの合格者数が計 2,797 名、消化器・一般外科の合格者数が計 1,608 名となったことが報告された（但し、別紙参照）。

- ・泌尿器科領域の委員として、新たに金山博臣委員が就任したことが報告された。

2) 国際委員会審議（坂井義治委員長）

- ・渡邊昌彦理事長より、SAGES 2016 の報告がなされた。
- ・JSES/SAGES Joint Symposium の海外招聘に関する規則（案）が提示され承認された。ただし、1,200 米ドルとなっている旅費補助額について、不足する場合は国際委員会およびその年の会長の判断で増額する旨を追記することとなった。
- ・IFSES 情報として、2020 年の WCES の日本への誘致状況等が北野正剛 IFSES 理事長より報告された。
- ・オリンパスが医療技術等国際展開推進事業として厚生労働省に提出した「ベトナムに対する内視鏡外科手術（胃切除術）の普及促進活動」へ JSES が協力することが承認された。本件は国際委員会で担当することとなった。

3) 財務委員会審議（小澤壯治委員長）

- ・2016 年度補正予算が承認された。

4) 腹腔鏡下肝切除に関する声明文の件（渡邊昌彦理事長）

- ・肝臓内視鏡外科研究会の依頼を受けて、腹腔鏡下肝切除に関する声明文へ賛同して、声明文へ日本肝胆膵外科学会理事長名および肝臓内視鏡外科研究会代表世話人名とともに JSES 渡邊昌彦理事長名も連名掲載することが承認された。

5) 第 32 回日本内視鏡外科学会総会会長推戴の件（渡邊昌彦理事長）

- ・小澤壯治理事が推戴され、満場一致で承認された。

6) その他（渡邊昌彦理事長）

- ・任期半ばでの理事交代を希望する場合、9 月理事会前に申し出るよう依頼された。また、これまでの慣習から任期途中での後任への引き継ぎは認められるが、正式には社員総会をもって交代となることが述べられた。

以上

(別紙)

- 1) 2016 年 4 月 16 日 (土) 開催の「日本内視鏡外科学会技術認定 (消化器・一般外科) 技術審査委員会」において, 同年 4 月 6 日 (水) に開催された, 日本内視鏡外科学会理事会での審議事項内容の訂正について下記の報告が行われ, 満場異議なく了承された.
 - ・技術認定制度委員会内報告での「2015 年度 (第 12 回) 技術認定 (消化器・一般外科領域) 合格者一覧」のうち, 2 名について不合格への差し戻しを行う.
- 2) 同年 4 月 22 日 (金) に技術認定制度委員会委員へ通信審議を行い, 理事会での報告内容の訂正につき審議され賛成多数により了承された. これを受け, 同年 4 月 27 日 (水) に役員への通信審議を行ったところ, 同様に賛成多数により了承されたため, 4 月 6 日開催の理事会での報告内容が訂正された.

訂正箇所については以下の通り.

- ・技術認定制度の最新状況

他学会を含めた全領域合格者数計 3,744 名 ⇒ 3,742 名

JSES のみの合格者数計 2,797 名 ⇒ 2,795 名

消化器・一般外科領域 合格者数計 1,608 名 ⇒ 1606 名

以上